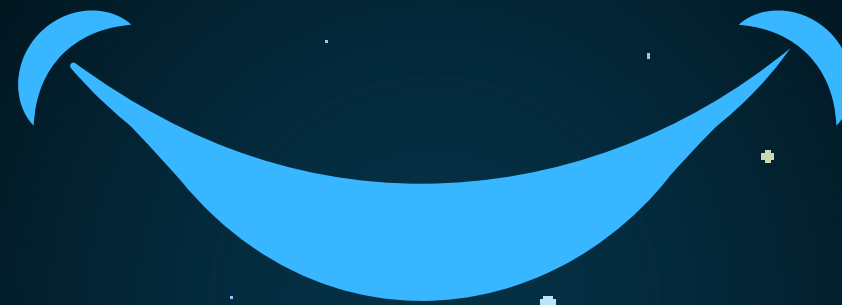


Trend25002. 座席シートマッサージトレンド

Trend News



座席シート

★ マッサージ機能

課題

クルマでの移動、休息やリラックスが難しい

移動中は、休息やリラックスが難しく、運転者は、運転で目や体に負担がかかります。同乗者も、モニター画面を長時間使用して、目や体に負担がかかります。

こうした課題から、車両のマッサージ機能にはリラックスや疲労軽減、目や体への負担軽減が必要です。

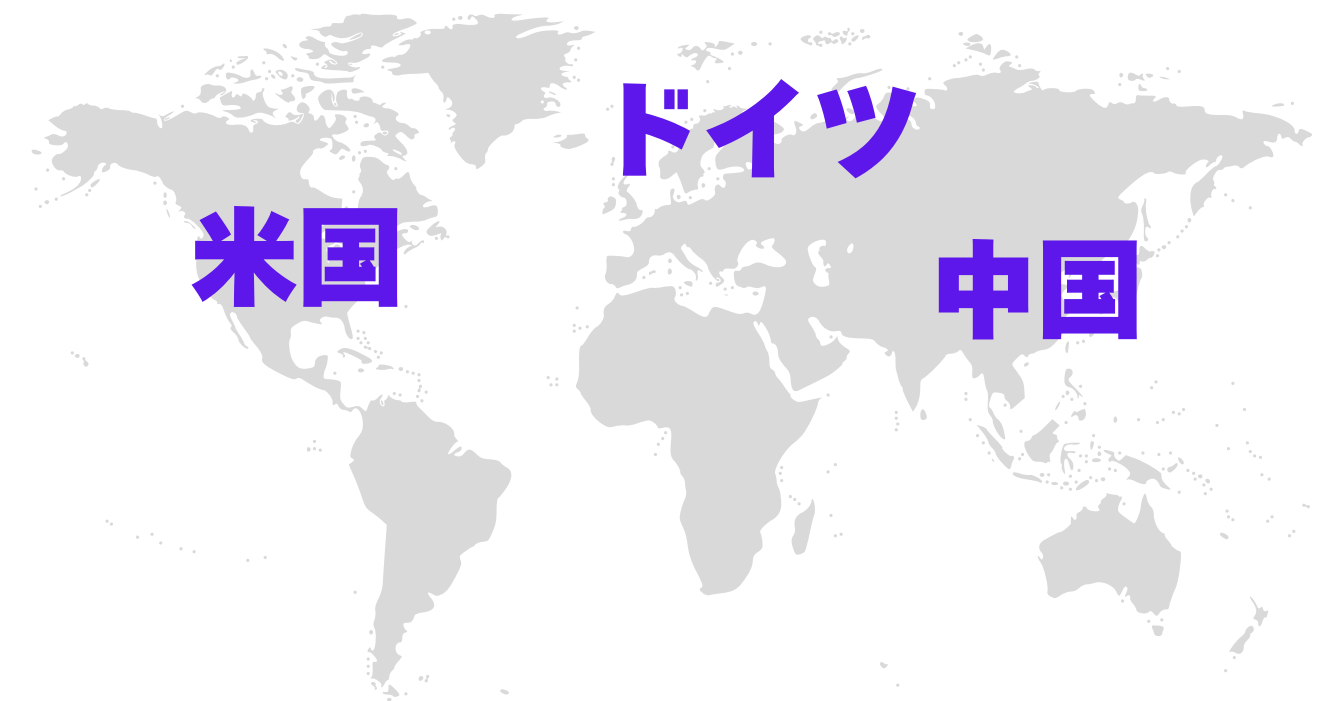


対策企業

海外企業が中心

自動車部品メーカーとシートなどを手がける部品メーカーが積極的に特許を出願しています。

- ドイツ；BMW, Mercedes BENZ など
- 中国；GEELY, BYD など
- 米国；フォルシアやリア・コーポレーション社 など

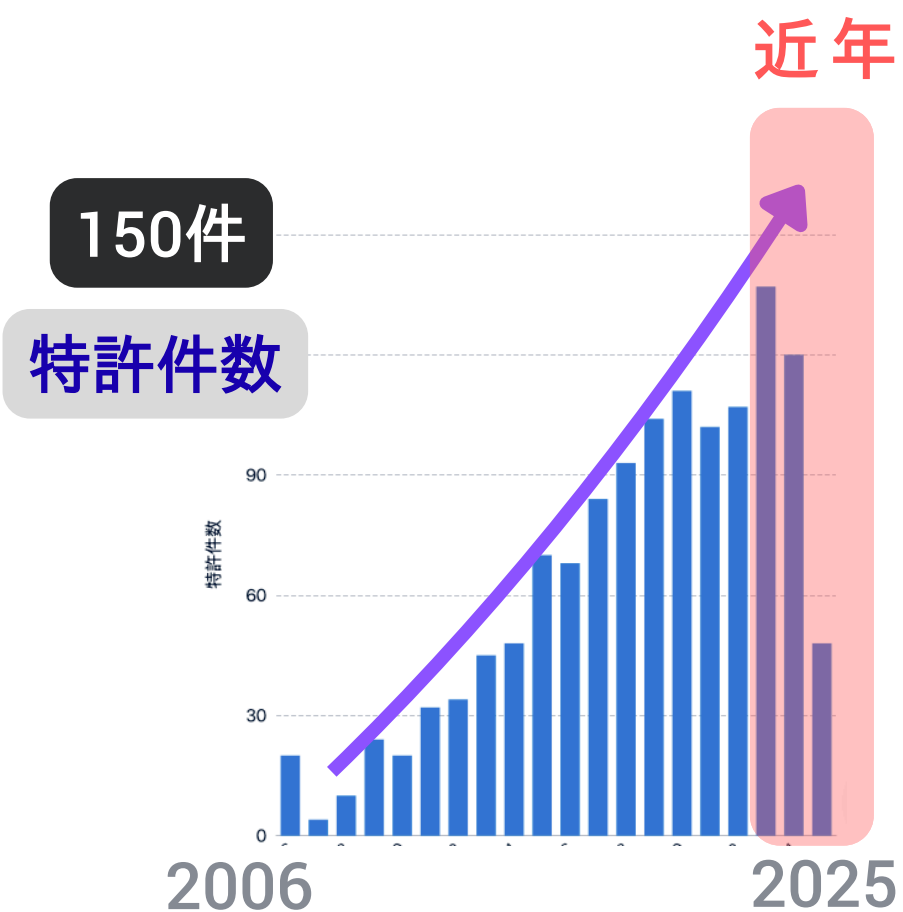


トレンド

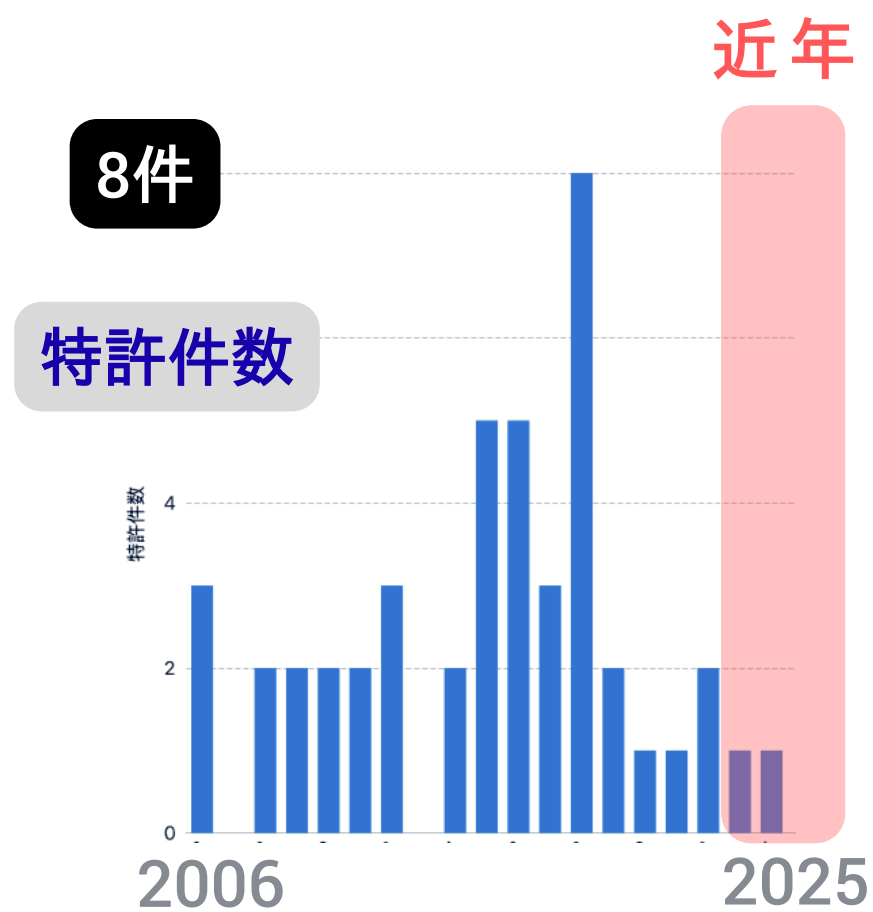
海外で活発。しかし、日本が異なる動き。

近年では、車のシートにマッサージ機能を搭載する技術の特許出願件数が増えています。

グラフによると、日本国内と海外ではその状況に大きな違いがあることがわかります。



172カ国特許
データによるグラフ



日本特許
データによるグラフ

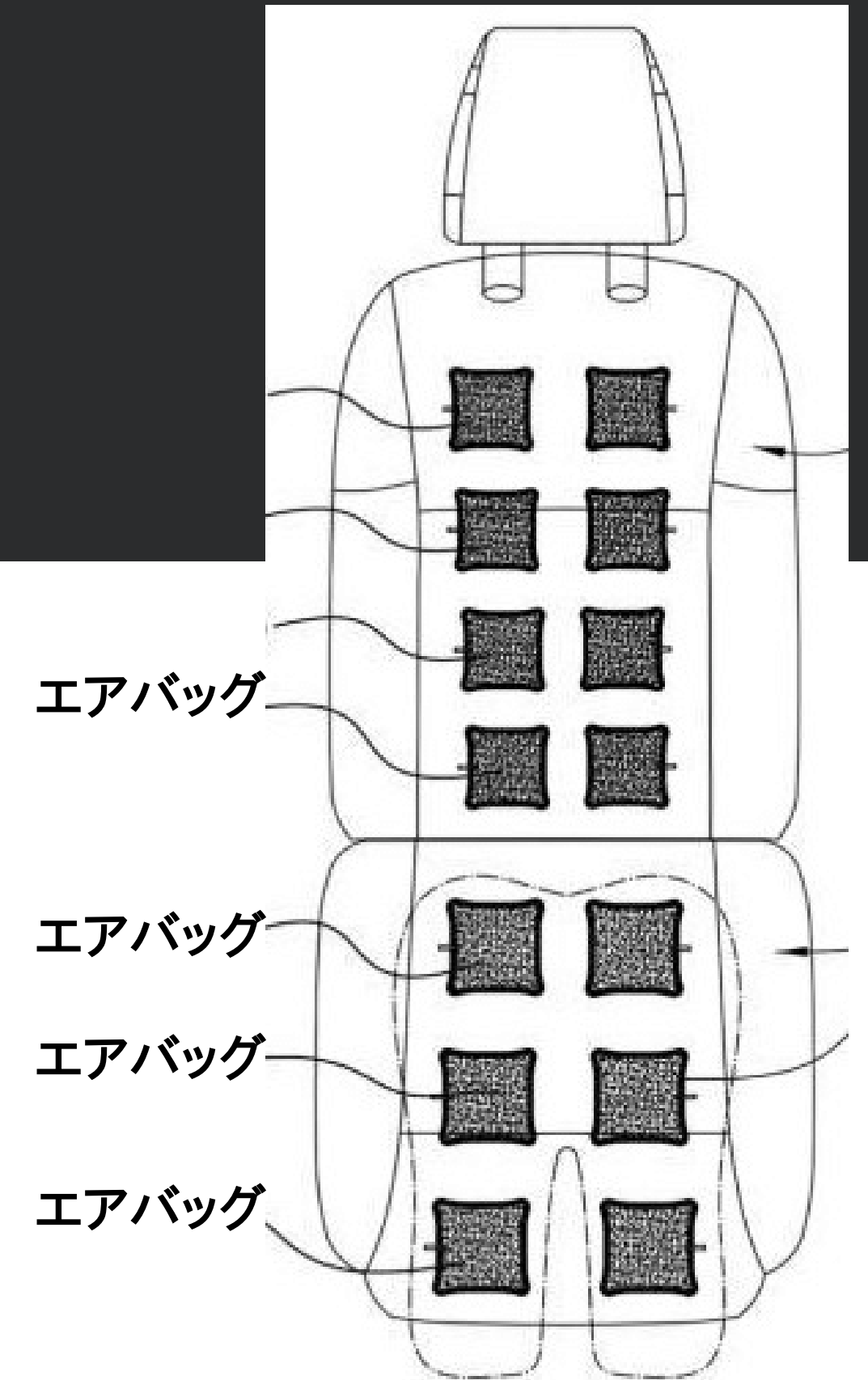
事例 1

中国のAEW社

自動車のシートなどを手掛けている中国企業です。

エアバッグを複数連結したエアバッグなどマルチエアバッグをシートに装備した技術があります。(右図)

また、AI技術を活用して、乗員グレーディングを行い、マッサージ効果をパーソナライズする技術があります。



事例 2

ドイツのBMW

BMW社は、車両のシート内部に、マッサージ機能と筋肉刺激機能が統合されたアクチュエータを搭載し、媒体を充填してマッサージを行うと同時に、電気や磁気による筋肉刺激も可能な制御システムについて特許出願しています。

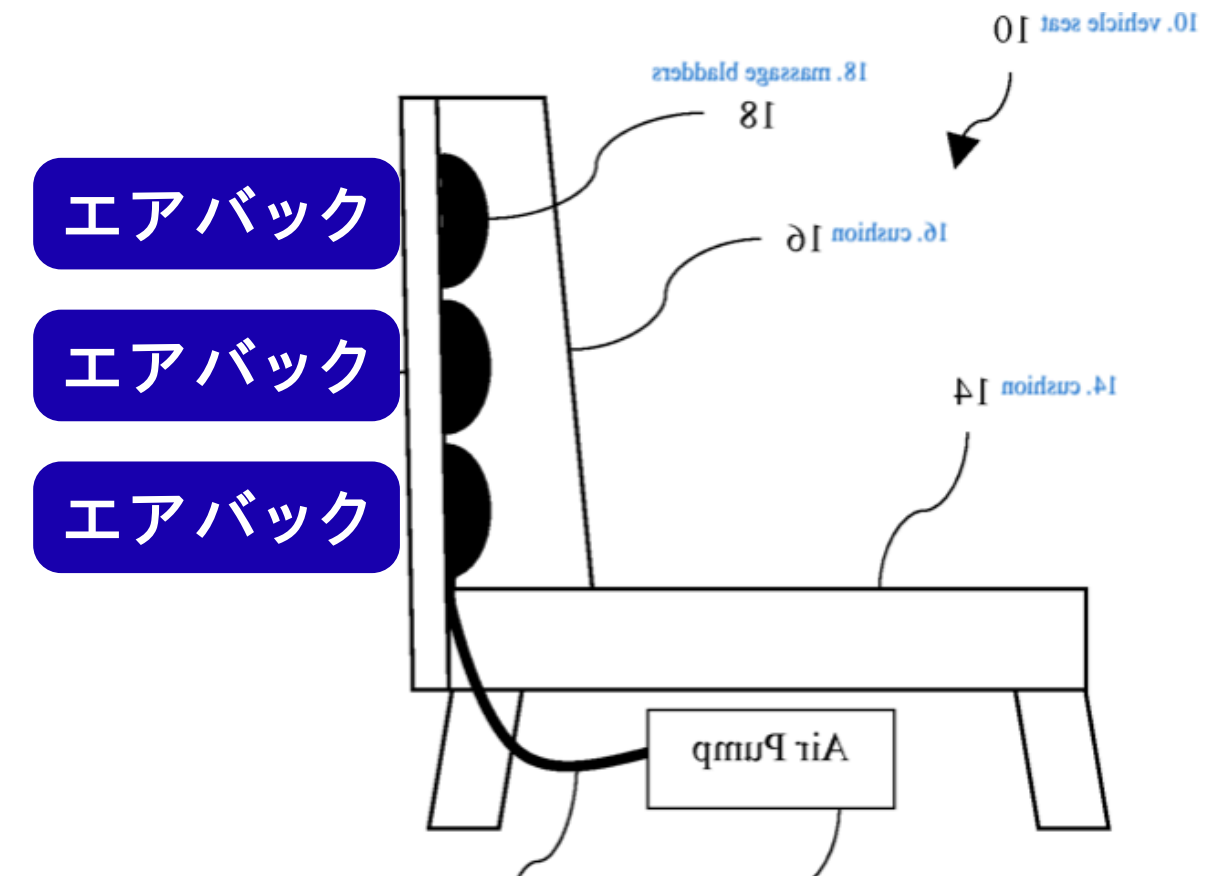


事例 3

米国のリア・コーポレーション社

リア・コーポレーション社は、車両シートなどを手がける米国の自動車部品メーカーです。最近の特許では、複数のエアバックに流体を配分する技術などに力を入れていて、車両シートマッサージシステムの技術があります。

フォードでは、座席内エンターテインメントを見据えたシートへのマッサージ機能などの特許出願があり、米国企業も技術開発を進めています。



未来

快適なモビリティ社会へ

世界の自動車業界においては、シートのマッサージ機能に関連する技術開発や特許出願が非常に活発に進められています。

欧州、中国、米国の企業が中心となり、快適性や安全性の向上を目指した先進的なシート技術が次々と発表されています。一方で、日本企業の特許出願件数は頭打ちの状況にありますが、今後はグローバルな競争力の強化を図り、新たな技術革新が生まれることが期待されます。今後も、より快適で安全なモビリティ社会の実現に向けて、シート技術のさらなる発展が期待されます。



【PR】 アナリスリサーチ株式会社

販売中；ドライバーモニタリングシステム（DMS）編

ドライバーモニタリングシステム（DMS）編は、11月30日までを期限として、特別に割引をするキャンペーン中です。まずは、商品説明をご要望ください。

受付中；カスタマイズ対応

この技術構想支援資料シリーズでは、ご要望テーマを反映したコンテンツ制作も受け付けています。
ご希望があればお知らせください。



【問い合わせ先】

アナリスリサーチ株式会社
ailab@pat-analysis.com